

【別紙】 令和2年度 学校自己評価重点目標シート (川口市立朝日西小学校)

(A4判横)

学校教育目標	進んでできる子・考える子 心豊かな子 たくましい子
目指す学校像	子供と教師が生き生きと輝き、保護者地域から信頼される学校 ～「笑顔 やる気 元気」あふれる朝日西小学校～

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	
学校関係者 (教職員を除く)	4名
事務局 (教職員)	3名

学 校 自 己 評 価					
領 域	年 度 目 標			年 度 評 価 (令 和 3 年 1 月 2 6 日 現 在)	
	現状と課題	重点目標	具体的方策	重点目標の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策
組織運営	・小規模校のため、教職員一人一人が担当する分掌が多くなる。一部の教職員に偏ることは少なくなってきた。臨時休校等の不測の事態にも対応できるような教職員体制を整えていく。	◎最新の情報を把握しながら不測の事態にも対応できるよう、組織的な教職員体制を構築する。	◎報告・連絡・相談、打ち合わせを密にし、不測の事態にも対応できるように教育活動を進める。 ◎校務分掌で偏りがないように組織編成する。	・校長室だよりを随時発行し、不測の事態に対応する方向性を職員に周知するとともに共通理解を図ることができた。様々な対応に追われる中ではあったが、組織的な教職員体制は構築しつつある。 ・ふりカエル会議で職員の意見を集約し校務分掌の偏りは是正されている。	A ・次年度も最新の情報を把握しながら不測の事態に対応し、教育活動を進める。組織的な教職員の体制は整いつつあるので、さらに機動的になるように働きかけていく。
教育課程	・臨時休校に伴う教育計画の見直しをする。昨年度の実践から1回半の学び合い活動の効果が徐々に表れてきている。新学習指導要領の実施と本校の委嘱研究をさらに推進する。	◎臨時休校に伴い、教育計画を精選・修正し、実施する。児童の発達段階や実態を考慮した適切な教育課程を編成・実施して、評価・改善を行う。	◎未履修内容の確実な実施 ◎新学習指導要領の実施 (プログラミング教育や外国語教育、キャリア教育の実施等) ◎市教委委嘱の国語科を中心とした授業研究を通して西小スタンダード「1回半の学び合い」を確立させる。	・未履修内容は確実に実施した。 ・全学年でプログラミング教育を実施 (3年生以上でPCを講師) キャリア教育では2名の講師を招いた。 ・2回の授業研究会を通して、今の状況でできる「学び合い」の課題が明らかになり、次年度の研究の方向性が明らかになった。	B ・今年度は学習内容の確実な実施に重点をおき進めた。次年度は本格実施となった新学習指導要領に沿った学びの改善を実施する。 ・今年度見送られた来年度実施の本発表に向けてさらに研修を深めるとともに児童の学力の向上を目指す。
開かれた学校づくり	・ホームページ更新の回数を増やし、新しい情報を提供しよう努めている。多くの方に学校公開、行事等に来校していただいている。授業等で、もっと地域の教育力を活用できるように連携を強めていく。	◎学校の教育活動を積極的に情報発信して理解を求め、学校・家庭・地域が連携した取組を増やし、信頼を高めることで魅力ある学校、開かれた学校づくりを行う。	◎学校公開や学校だより、HPで積極的に情報を発信する。 ◎学校応援団の活動を一本化して充実させ、授業ボランティアの人材発掘を図る。 ◎今年度発足した学校運営協議会や他の外部組織との連携を図る。	・地域、保護者の来校機会が例年より少なくなったため、HPをリニューアルして充実させ、児童の様子が伝わるように努めた。 ・学校運営協議会を発足したが、外部組織との連携を働きかけるのは難しかった。感染症の状況を鑑み働きかけていきたい。	B ・地域・保護者への情報発信については、より充実を図るように改善する。 ・外部組織と連携し、地域連携を推進していく。
教職員の資質向上	・単学級が多いため、学級経営、授業づくりにおいて、学年内で他の担任と協議・検討することができず、一人一人の判断力、課題解決能力が問われる。ベテランのノウハウを広め、若手教員たちの指導力向上につなげる。	◎全職員による学校づくりを推進し、一人一人が自信と責任、やりがいを持って教育活動に参画する。	◎経験年数に応じた計画的な研修を実施する。 ◎指導課訪問以外にも、全員が公開授業を行い、授業改善に向けて全職員で研修する。 ◎管理職による教室訪問を行い、適時助言する。	・今年度の各種研修は、オンラインでの開催が多かったが実施。また、管理職による教室訪問を行い、授業を検証し助言することで、指導力向上につながった。	B ・学習指導のみならず学級経営や生徒指導、保護者対応などにおいて、職員研修の機会を設けて全職員で共通理解、共働行動していけるようにする。
施設・設備等の管理	・施設・設備はかなり老朽化してきているため、危険箇所等の早期発見と迅速な対応、限られた予算の中で計画的な修繕が必要である。	◎施設・設備の安全管理を徹底して学校事故0を目指す。	◎教職員による日常の安全点検と地域・保護者の目を入れた多角的な視点からの安全点検の実施と、予算を有効活用した計画的な修繕 ◎会計取扱い規定、個人情報管理規定の周知徹底	・学校事故0を達成。地域、保護者による学校設備点検を実施し、多くの目線や角度から安全性を高めることができた。 ・学年会計事務を事務職が担うことにより会計事故を防ぎ、教員の業務改善にもつながった。	A ・老朽化による危険箇所が増加している。限られた予算の中で計画的に修繕を進めていく必要がある。 ・感染症対策を含めた危機管理マニュアルの見直しを行った。今後も事故の未然防止に向け具体的な対策を行っていく。

学 校 関 係 者 評 価	
※実施日	令和 3 年 2 月 2 5 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
・今年度は、予測が難しい状況の中で共通理解や組織的な体制が整えられたことはよかった。コロナ対応において管理職の迅速な意思決定及び教職員への周知徹底など組織的な教職員体制がなければ成しえなかったことだろう。より風通しの良い体制構築と学校運営を期待する。 ・行事等がほぼ行われぬ中、教職員全体の様子を見る機会が少なかった。保護者アンケートから、保護者が安心して送り出すことができる学校運営がなされていると考えられる。	
・児童は全体的に落ち着いて授業を受けている。教職員からは自ら考え意見が言いやすい雰囲気を作る言葉の投げかけがなされていた。 ・休校により、家庭学習しかできなかった授業内容を確実に実施されたことは児童・保護者は安心できたと思う。 ・大きな行事に代わるイベントなどは、児童の思いを大切にしつつできる範囲で計画、実行されたことが窺える。	
・来校機会は減少したが学校だよりや学校HP「児童の活動」、緊急情報メールが頻繁に更新され、必要な情報がタイムリーに発信されていた。行事や下校時刻変更等の連絡、学校応援団の活動日程といった情報は以前に比べ早い段階で発信されている。また、大切な情報は複数回送信されるといった取組は大いに評価する。 ・学校運営協議会と他の組織との関係性ははっきりつかめなかった。	
・単学級が多い学校での学級経営や授業の検討等について管理職の指導助言は教員にとって心強いと思う。 ・管理職の日常的な教室巡回は、教員が緊張感をもって児童に向き合うために今後も続けてほしい。 ・支援員が入るクラスでは、管理職や教員から要望を伝えるなど有効活用している。 ・児童数が少なく2町会のみ小さな学校の良さをこれからも生かしてほしい。	
・設備点検に地域、保護者の目を入れたことはとても良いことである。また、児童にも不便や危険を感じることをアンケートしてみるのもよい。 ・老朽化した校舎の安全点検に注意を払い児童が安心安全な学校生活が送れるよう今後もお願いしたい。 ・感染症対策等、日々苦労が多く例年と違う配慮があったことに感謝する。 ・学年会計の事務職管理は、教員の事務作業軽減や会計の透明性において有効である。	